

議会だより

2009
11



一日も早い復旧が求められる 8月集中豪雨の被災地(夜久野町畑)

主 な 内 容

8月臨時市議会・9月定例会市議会の概要、意見書 12月定例会市議会の予定	2
一般質問	3 ~ 15
予算審査特別委員会・常任委員会の審査報告、 議会日誌、編集後記	16

8月臨時市議会の概要

8月臨時市議会は、8月10日に開催され、継続審査となっていた「福知山市有線テレビジョン放送施設条例の一部を改正する条例の制定について」の1議案を審議した。予算審査特別委員会の委員長報告の後、討論、採決を行った結果、賛成少数で原案否決となった。

9月定例会市議会の概要

9月定例会市議会は9月7日から9月30日までの24日間にわたって開催された。

この議会には、平成21年度福知山市一般会計補正予算(第6号)など16議案と、福知山市有線テレビジョン放送施設条例の一部を改正する条例及び、平成21年度福知山市一般会計補正予算(第7号)の2議案が追加上程された。その内、平成20年度の歳入歳出決算と企業会計決算の認定2議案については、決算審査特別委員会を設置して付託し継続審査とし、残りの16議案はいずれも原案のとおり可決した。また、人事議案は、公平委員の選任、教育委員の任命、人権擁護委員の候補者の推薦についてそれぞれ同意するとともに、京都府地方税機構議会議員に木戸正隆議員を選出した。また、「基地対策予算の増額等を求める意見書」を可決し、関係機関に送付した。

補正予算

一般会計では、緊急雇用特別対策事業として2076万3千円、災害復旧事業として1557万円、北陵中・公誠小学校統廃合関連事業として850万円、京都府税務共同化事業として852万8千円、障害者自立支援医療(更生医療)給付事業として3464万6千円など計3億3425万4千円を補正し、補正後の総額を392億1980

万7千円とした。また、国民健康保険事業特別会計で3億321万円を補正し、補正後の総額を81億5661万円とした。また、福知山駅周辺土地区画整理事業特別会計で5500万円を補正し、補正後の総額を23億3800万円とした。また、介護保険事業特別会計で5452万4千円を補正し、補正後の総額を61億8781万6千円とし、補正後の全会計の総額を808

9月定例会で提出した意見書

基地対策予算の増額等を求める意見書

平成21年9月17日付

衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、総務大臣、
財務大臣、防衛大臣

宛

億3176万6千円とした。

条例

「福知山市国民健康保険条例」、「福知山市教育集会所条例」、「福知山市自転車等駐車場条例」、「福知山市駅前広場条例」、「福知山市立学校設置条例」及び、福知山市有線テレビジョン放送施設条例の一部改正を行った。

工事請負契約の変更について

最終処分場整備事業 浸出水処理施設(土木建築)建設工事

その他

- 和解について
- 損害賠償の額について(2件)
- 専決処分承認について

12月定例会市議会の予定(23日間)

12月3日(木)招集予定

本会議

(提案理由説明ほか)

11日(金)本会議

(質疑、一般質問)

14日(月)本会議

(一般質問)

15日(火)本会議

(一般質問)

16日(水)常任委員会

17日(木)常任委員会

24日(木)本会議(採決)

25日(金)会期

*この議会予定は、今後変更する場合があります。

報告

補正予算(第5号)

- 継続費精算書の報告について
- 損害賠償の額について
- 健全化判断比率等について

人事議案

公平委員

蘆田勝己さん(大門)

教育委員

倉橋徳彦さん(北有路)

人権擁護委員

高橋正雄さん(菟原中)

衣川靖雄さん(直見)

国へ提出した意見書

- 基地対策予算の増額等を求める意見書

9月 定例会 一般質問



平成 会

谷口 守 議員

過疎高齢化に伴う諸課題

問 地域住民の主要交通であるJRバスが昨年大幅な減便となったが、経営助成補助はできないか。

答 今回の減便については、路線を維持していくために苦渋の選択だったと聞いています。JRバスが本年度正式に国庫補助の路線の採択要望を申し出られた。本市としても現状の路線と便を確実に維持して、沿線住民にとって必要不可欠な生活路線を確保するために、補助路線として採択されるよう国・府に要望を行っていく。

問 本年7月から市バス運賃一路線200円均一料金制が実施されたが反響は

本年7月から市バス運賃一路線200円均一料金制が実施されたが反響は

答 運賃収入は前年同月と比較し、若干落ち込んでいます。また、新たに創設した高齢者優遇定期乗車券や運転免許自主返納者優遇定期乗車券の問い合わせも多数寄せられています。

問 高齢者対象の有償運送の利用条件が緩和されたが効果は。

(市民人権環境・生活交通課)

答 自家用車がある家庭でも昼間家族がいない家庭も対象としたもので、46名が新たに登録され、8月末現在で登録者が649名となっている。

問 消防団員の確保が厳しいが消防団組織の見直しの考えは。

(福祉保健・高齢者福祉課)

答 消防団員の皆さんには、他に仕事をもちながら自らの地域は自らで守る精神のもと、ご活躍いただいているが、

サラリーマン団員の増加などにより昼間出勤できる団員の確保が困難になっている。これを受け、消防団においても活性化検討委員会での今後の方向性を検討している。本市の団員定数は2160名で、国が定める消防力整備指針に基づきポンプの台数や管轄エリアなどを勘案して定めている。今後、分団と地域の合意があれば消防力を低下させない範囲で見直しの協議を行うことも可能であると考えます。

問 学校統廃合の答申を受けての考え方、今後の地域活動のあり方は。

(消防本部)

答 答申は、学校再編成を検討して行く上での指針である。教育効果を発揮していくためにはおおむね1学級20人程度が妥当であると考える。答申を目安にして実施計画を策定し、今後、地元の皆さんの意見も聞き、児童生徒のよりよい教育環境の実現を目指す。併せて答申の中にも、地域コミュニティの推進ということでその方向性を示しており、今後、人材を育てるために公民館活動の必要性も求められる。

(教委・教育総務課、生涯学習課)

問 新政権の公共工事の大幅な見直しによる、由良川改修全体に与える影響は。

政権交代が由良川改修に与える影響は

問 新政権の公共工事の大幅な見直しによる、由良川改修全体に与える影響は。

由良川中・下流部の水防事業では、住民の安心・安全を守るため、国の直轄事業として確実に進捗している。新政権のマニフェストでは、公共工事の全面見直しや国の出先機関を原則廃止と、より厳しい状況も懸念されている。由良川改修事業は、特に緊急を要する必要不可欠な事業であるから、国に対し

由良川中・下流部の水防事業では、住民の安心・安全を守るため、国の直轄事業として確実に進捗している。新政権のマニフェストでは、公共工事の全面見直しや国の出先機関を原則廃止と、より厳しい状況も懸念されている。由良川改修事業は、特に緊急を要する必要不可欠な事業であるから、国に対し

由良川中・下流部の水防事業では、住民の安心・安全を守るため、国の直轄事業として確実に進捗している。新政権のマニフェストでは、公共工事の全面見直しや国の出先機関を原則廃止と、より厳しい状況も懸念されている。由良川改修事業は、特に緊急を要する必要不可欠な事業であるから、国に対し



最後の思い出づくりの体育祭(公誠小・北陵中)

て早期改修を要望していく。現整備計画に位置付けされていない筈巻、下天津、日藤、在田、阿良須及び高畑など全ての地区に関して、国交省福知山出張所でも見直し作業が進められているが、政権交代に伴う公共工事の見直し作業の遅延が心配されている。由良川治水促進同盟会の意見交換会が、この秋東京で開催される予定なので、由良川に関係する国会議員、国交省幹部に河川整備計画の早急な見直し及び河川の早期改修を働きかけたい。

(土木建設・都市整備課)

………
中心市街地の活性化について
 ……

問 駅北側商店街の疲弊が著しいが、その原因と対策は。

答 ききょう通り商店街では、今年の11月にコミュニティ道路が開通し、それぞれの店が精力的に営業展開をされ、独自のキャラクターを生かし、積極的に取り組まれている。しかし、最近の経済状況や駅北付近の店舗の閉鎖、空きテナントの増加など、市民の消費動向を含めて、商店街を取り巻く現状は本当に厳しいと認識している。

駅北広場などのハード整備のタイミングに合わせて、駅北側の人の流れをつくるソフト事業を地元の皆さんとともに考えたい。

問 ホームセンターコーナンのその後の進展状況と生鮮食品スーパーの誘致状況は。

答 大規模街区に誘致したコーナンのについては、8月27日に大型小売店舗立地法に基づく届出を府に提出され、来年4月オープンとの予定である。今後、地元商店街と連携して、駅周辺の活性化につながると期待している。生鮮食品スーパーについては、コーナン予定地の隣接地である開発公社の土地に時期を考え、応募の準備を進めたい。

(土木建設・福知山駅周辺整備課)

………
城周辺の駐車場整備は
 ……

問 市民プールの跡地利用をどのように考えているのか。

答 長年親しまれてきた市民プールを今年度限りで閉鎖する方向で考えている。跡地利用について、早い時期に地元住民などへの説明会を開催して、福知山城公園の観光駐車場の拡張などを含め、公園施設整備の検討をしたい。(土木建設・都市計画課)



今年度で閉鎖される市民プール

日本共産党市会議員団

足立 進 議員

………
雇用対策の一層の強化を
 ……

問 本市において、雇用促進を図るために、関係機関との連携はどうかしているのか。

答 丹広域振興局、長田野工業センター、ジョブパーク北部サテライトなど8団体で構成する「福知山雇用連絡会議」で本市における雇用促進と、公正な採用の啓発などを実施している。また、本年度よりジョブパーク

北部サテライトに、ハローワークから常勤の相談員と、本市から専任の職員1名を配置して、独自求人の開拓、就職支援セミナーの開催、ジョブパーク北部サテライトの業務の啓発などを京都府と共同で行っているところである。

(農林商工・商工振興課)



ジョブパーク北部サテライトでの就職相談中

問 福祉面での雇用拡大をはかるべきでないか。

答 国の補正予算の内容は、平成23年度までに介護施設設あるいは地域の介護拠点施設を整備するための交付金の拡充である。これを受けて本市は、平成24年から26年までを前倒し立てるために、各事業所の意向を調整するなど準備を進めてい

る。介護基盤の整備が雇用の場になるように期待をしている。

(福祉保健・高齢者福祉課)

児童クラブの充実を

問 9月より利用料値上げとなる。利用者への説明会の状況はどうであったか。

答 説明会で出された質問や意見は、環境改善やサー

ビス向上の内容は具体的にないか。なぜ年度途中での値上げなのか。値上げの根拠はなにが。他市の料金はどうなっているのか。児童クラブを充実するなら4年生以上も利用させて欲しい。夏休みなどの長期休業中は始まりの時間を早めて欲しい。長期休業中の利用を俺我幼稚園だけでなく、地元で開催して欲しい。といったものであった。こうした内容を集約して、子育て支援課の考え方を付記したものを9月7日に全保護者に郵送した。

問 よりよい児童クラブのあり方を探求する機会を設けてはどうか。

答 基本的に児童クラブは保護者の就労支援であるが、子守りをしていけばよいということではないと認識している。そのため研修を実施している

が、指導員の質の向上をはかる、より充実した内容の研修にする必要がある。指導員の意見交流や保護者の要望などを聞く機会が、今後検討して計画をしていきたい。

(福祉保健・子育て支援課)

中島 英俊 議員

8月豪雨被害の復旧支援の拡充を

問 この8月豪雨では平成16年の台風23号に匹敵する大きな被害が出た。本市全体の被害状況は。

答 8月9日の集中豪雨は時

問雨量が51ミリで、本市の河川や道路被害は259件で7億8827万円。農地や農業施設では、516件で2億3300万円。林道では、11路線で2030万円であった。



農道、護岸、頭首工も洗い流された副谷地域

問 激甚災害の指定を受けたが、地元負担は。

答 農地・農業施設と林道が指定を受けたので、5年前の台風23号時と同じように、

農業施設3%、農地8%、林道は10%程度の地元負担でいけると思っている。

(土木建設・土木課、農林商工・農林管理課・林業振興課)

問 国の補助対象外となる工事費が40万円以下の工事の支援を。

答 5年前と同じように、市の補助で実施したい。

(農林商工・農林管理課)

問 府の管理河川も、市の河川や谷川も、堆積した岩や石、土砂の撤去で川床を下げないと次の被害が目に見えている。力を入れてもらいたい。

答 9月2日に土木事務所へ頼んだが、近々、振興局にも行き、財政援助を頼みたい。

(土木建設・土木課)

問 補助対象にならない復旧工事や自治会や農区でやる場合は、重機やダンプの賃料などを市が支援する新しい制度を考えてもらいたい。

答 地元の共同作業などの支援制度についても、ぜひ

研究していきたい。

問 「防災ハザードマップ」や「防災の手引き」に、大雨の時に使用できない公民館などの施設が×印でたくさん示してあるが、どこに避難したらよいかを表示すべきではないか。

答 次のマップには、きちんと表示したい。

問 広域避難所になつていない小学校などが、夜中でも急遽開けられるよう鍵を持つ人や方法も考えるべきではないか。

答 鍵の取り扱いも含め、開設までの時間短縮に向け、協議している。

問 今回も床上浸水には3万円の見舞金が出るのか。

答 同じように出す。

問 農地の復旧で、都会へ出ている地主に協力依頼する時に、市長も一文「添書」を協力願えないか。

答 「添書」は困難だが、文書作成については一緒に検討させてもらいたい。

問

答

問

答

問

答

新型インフルエンザ対策

問 インフルエンザ対策で、ワクチン接種の公費負担

や国保証とりあげ世帯に、短期でも保険証の発行が求められているがどうか。

答 ワクチンの公費負担は、近隣市町の対応を調査する中で方針を決めたい。
(福祉保健・健康推進室)

吉見 純男 議員

便利なバスをどう実現させるのか

問 今年7月より、市バス14路線で200円均一料金となったが、7月・8月の乗車人数、運賃収入は昨年同月と比較してどう変化したか。

答 乗車人数は7月で272人、8月で56人増加したが、運賃収入は若干減収となっている。乗っていたかどうかを伝をして収支改善を図っていき

たい。

問 高齢者優遇定期券、運転免許自主返納者優遇定期券は1カ月2000円と、1カ月5回以上往復される乗客にとつては安価になるが、発行状況は。

答 高齢者優遇定期券は、8月末で24件発行している。運転免許自主返納者優遇定期券

車券は、問い合わせはあるが、未発行となっている。

問 高齢者優遇定期券などは、車内に制度説明の広告をするとか、定期券・回数券などの販売場所を支所だけでなく委託業者、郵便局などに協力が得られないか。

答 三和地域の路線では定期券・回数券の車内引渡しをしている。今後、全体的な視点で考え、努力していきたい。

問 市バスの更新基準はどうなっているのか。

答 おおむね40万km走行を基準としている。

西日本JRバス圏福線増便の協議を

問 通勤、通学に支障をきたしている。増便の協議はできないのか。

答 不便をかけていることは、おわびしたい。最近、収支が赤字となっており、国庫補助路線にするための協議の中で今よりも減便という事もあったが、拡充も含め協議していきたい。生活上不可欠な路線としてJR西日本バスに、市としても一定の協力をしていきたい。

地域内交通体系の整備を

問 合併後、市域も倍増する中で地域内交通体系の体系的な整備が必要である。計画策定ときめ細かい対応と実践が求められているが、検討状況は。

答 今後の交通体系については、福知山市全域において生活を守ることを基本に、交通体系だけでなく福祉のまちづくりの面からもとらえていく必要がある。調査、研究に鋭意取り組みんでおり、できるだけ早くまとめていきたい。
(市民人権環境・生活交通課)

学校給食への教育委員長の所信は

問 豊かな学校給食をどう実施していくのかについて、新任教育委員長の所信は。

答 学校給食法が全面改正段階にとどまらず、食育を推進していく生きた教材として、教育活動に明確に位置付けられた。教育委員会としては、法改正の趣旨が給食センター建設見直し、実施方法、食の教育活動、地産地消の推進、安全で安心な学校給食運営などに深くかわるも

のと認識し、最も望ましい給食のあり方をPTAとともに意見を聞きながら創出していきたい。
(教委・学校給食センター)

高宮 泰一 議員

在田橋高欄撤去

問 8月10日の豪雨で在田橋の高欄撤去ができなかった原因と今後の対策は。

答 在田橋の高欄撤去の判断は、由良川水位情報によつて行っている。今回の在田橋での水位上昇は、牧川地域での豪雨が原因で急激な水位上昇に高欄撤去が間に合わなかったと聞いている。今後の対策として、府では委託業者への指示系統の再確認、高欄撤去訓練の充実を図るとともにゲリラ豪雨への対応も検討していくと聞いている。

潜没橋の抜水橋化計画

問 波美橋と尾藤橋の統合橋がまもなく完成するが、その後の三河橋・在田橋の2つの潜没橋の抜水橋化計画は。

答 統合橋整備事業が完成後、残り2橋の抜水橋化の計

画について検討する必要があると認識している。今後、河川整備計画と併せて国交省・京都府に要望活動の強化を行っていきたい。
(土木建設・都市整備課)



高欄撤去が間に合わなかった在田橋

国の後期高齢者医療保険料の軽減措置と徴収問題

問 後期高齢者医療保険料の軽減措置の対象者に分かりやすい周知徹底は十分行われたのか。また、気がつかなかった方に督促手数料100円の返金できないか。

答 7月1日付けで、保険料額と徴収方法の通知を行った。しかし、高齢者に大変分かりづらい制度で理解できないなどの苦情やご意見をいただいた。大変分かりにくかったと

認識している。

督促手数料は市の滞納金督促条例に基づき収めてもらうが、この条例には還付規定がないため申し訳ないが返金できない。
(福祉保健・高齢者福祉課)

学校教育審議会答申の説明と今後

問 答申では、「学校がなくなると地域コミュニティが衰退したり、地域活力の低下が危惧される」と、地域づくりにおける学校の役割を明確に述べているが、市長部局も連携していく必要があるのでは。

答 地域づくりは、地域と行政が協働して取り組んでいくことが大切であると考えている。子どもたちの教育環境の状況からは、待ったなしの検討が必要などもある。体制づくりについては、学校統合を推進することについて、地元理解が進む方向なら、地元意向を把握しながら市長部局と協議して連携を図っていききたい。
(教委・教育総務課)

塩見卯太郎 議員

後期高齢者医療制度の現状と廃止を求める考えは

問 後期高齢者医療制度の廃止を国に求める考えはないか。

答 政権交代した中で、今後の方向を見守りたい。

問 前・後期高齢者の人口、保険料納付状況と資格証や短期証の発行の状況は。

答 75歳以上の人口は1万1299人。保険料の未納者は9月時点で1322人。資格証発行はゼロ、短期証は6人。1年以上未納だからといって一律に保険証返還を求めず、あくまでも個別に面接して、実情をよく聞いて対応している。

問 市独自の保険料軽減の補助施策は継続すべきだが、今後も保険料軽減の補助施策は継続する。

答 今後も保険料軽減の補助施策は継続する。
(福祉保健・高齢者福祉課)

荒廃農地の解消と農業振興の強化は

問 京都府内の荒廃農地の現状が公表されたが、本市の状況と対策は。

答 平成20年度の調査で、本市の荒廃農地は全農地面積37335haの5.5%にあたる206.1ha。この内、復元可能面積は81.7ha、復元不能面積は124.4haとなっている。要因は、高齢で農作業が困難なことや鳥獣の被害、後継者不足、米価の下落などがある。市としては、7月に国の制度を受け、府・市・JA・農業委員会、耕作放棄地対策協議会を設立して、5力年で各地域と協議しながら事業に取り組む。

(農林商工・農業振興課)



転作田にソバの花が満開

職員収賄事件で市のさらなる対応を求めるが

問 6月定例議会では、「前市長、前副市長の聞き取り

調査が終了したので、今後、関係職員の聞き取り調査に鋭意取り組み」と答弁されたが、その進捗状況は。

答 二度と不祥事を起こさない観点から、病院建設の什器購入、立体駐車場建設に関わった現職と退職者を合わせ13人から、8月末までに聞き取り調査を終えた。現在、その内容について精査をしている。10月の大阪高裁での判決もふまえ、調査内容については12月1日号の広報に載せるように準備を進めている。

(総務・職員課)

政 和 会

稲垣 司郎 議員

8月の集中豪雨による災害復旧の見通しについて

問 市は寸断された道路・橋の生命線である用水路などの復旧作業に素早く対応をされ、市民は安堵したと聞いている。

今回の対応にあたって、最も評価するのは、縦割り行政ではなく、総務・市民人権環境・農林商工・土木建設などの部署が

一体となって対応を協議し、役職に関係なく、それぞれが現地に赴き対応されたことである。そこで、復旧についての見通しだが、特に台風23号で復旧した同じ個所の復旧は、税金の無駄遣いといわれているが、国・府への対応は。

答 特に牧川筋の被害が大きかった。9月2日に早期の復旧と堆積した土砂の撤去、そして現状以上の復旧を求め、府に要望書を出した。府では、台風23号で同等の被害を受けたところは状況を検証し、復旧の方法を検討されていると聞く。また、堆積土砂の撤去についても緊急を要する個所の撤去を予定していると聞いている。

(土木建設・都市整備課)

有害鳥獣対策について

問 天敵の少なくなった有害鳥獣が、近年は温暖化の影響か、鹿にあっては2頭を身籠っているケースも多いと聞く。繁殖率が非常に高くなっている今日、駆除しても追いつかない状況にあるが、対策は。

答 繁殖率の増加は認識しているので、捕獲が第一と考え、今年度は昨年比1.3倍

の捕獲をしている。今後は、広域的な捕獲に向けた取り組みを進め、振興局を中心に綾部市・舞鶴市とも連携を図っていききたい。また電気柵についても府に補助の増額を強く要望している。

(農林商工・林業振興課)

「e-fukuchiyama」整備事業について

問 デジの料金改定案が継続審議になったため使用料や加入金に歳入欠陥が生じたが、旭が丘放送センターへの委託料は支払われている。一方で、工事は進められていない。その原因はどこにあるのか。

答 基本的には歳入歳出のバランスが整うまで執行できないが、維持管理費は事業をスタートしており、途中でゼロにすることはできないので支払っている。工事については財源確保が図れるまで停止せざるを得ないと判断した。

問 歳入欠陥のまま、委託料は払って処理し、工事は同じ条件でも停止にする。蘆田副市長の答弁は、財源が整わなくても市の判断でどうにでもできるということだ。市が本気で工事を進めるつもりなら、財

政調整基金から繰り入れをして、専決処分が補正予算を組んでも対応できるはず。工事の執行ができない責任は誰にあるのか。市は春の自治会長会で、料金改定案が継続審議になっているから工事ができないと説明しているが、議員の責任なのか。

(企画政策・情報推進課)

自由民主党議員団

木戸 正隆 議員

市民生活を守る、10年の財政計画を問う

問 平成28年度以降、一本算定に移行し、税収入の状況は極めて厳しくなる。生活保護費などの民生費がさらに伸び、財政調整基金が底をつくが、その具体策は。

答 行財政のスリム化や財政基盤の強化を行い、さらなる歳出削減の努力をしなければ

ばならない。

問 本市の将来の財政健全化判断比率「4指標」への対応策は。

答 将来負担比率は、昨年と比較すると18・3ポイント悪化している。歳出抑制やスクラップアンドビルドなどを徹底し、将来負担比率を悪化しないよう、地方債現在高の増大を抑制することが必要である。

(財務・財政課)

本市の総人件費及び超過勤務手当の削減対策は

問 総人件費が118億円余りと非常に多い。この削減対策は。

答 人件費の削減は、今後の財政状況を考えると特に重要な課題である。職員の削減により人件費の削減に努める。

問 時間外勤務手当も5億円余りと非常に多いが、対策は。

答 時間外勤務手当の削減は重点課題である。年間一人当たり月13・5時間に削減できるようにしたい。

(総務・職員課)

保育園・小学校の統合による地域存続の施策は

問 地域に保育園や学校が無くなれば若い人は定住しない。高齢者だけになり地域が消滅する。「少子高齢化対策」と「若者定住施策」は。

答 周辺部では良好な住環境を充実と「医・職・住・遊・学」の場にアクセスするために、特に通勤・通学・通院の交通手段の確保が不可欠であると考えている。

(企画政策・企画推進課・市民人権環境・生活交通課)

問 三和地域の小学校統合の地元理解を得るための環境整備について、どう考えるか。

答 耐震化は学校統合とは別の課題と考えるが早期の統合ということになれば教育環境の整備と併せて対応する必要があると考える。

(教委・教育総務課)

細見、川合、菟原保育園の統合問題について

問 3地域の地元説明会で特たか。

答 各園からは、統合後の通園バスの時間帯、保育内容の充実、統合後の小学校への行事の参加についての意見があった。また、3園の共通意見としては、小学校と保育園の統合を同じ時期にしてほしいという意見があった。

問 統合されたら、通園バス、保育サービスの内容は、具体的にどのようなものか。

答 通園バスの運行計画や具体的な保育内容については保護者の意見を充分聞き、現在の保育内容が低下しないよう保護者のニーズを把握し、保育内容の充実を図っていきたい。

(福祉保健・子育て支援課)

公明党議員団

大谷 洋介 議員

政権交代後の市政運営は

問 衆議院議員選挙結果に対する市長の思いは。

答 投票率が上がり、政権選択に関わろうとの市民の強い思いを感じる。新政権には、地域主権、財源確保に意を用いた誠実な国政運営を期待している。

る。

問 道州制についての見解は。

答 今、関西地域では、道州制に先行する取り組みとして「関西広域連合」計画がある。その時は、福知山市がリーダーシップを取れるよう勉強したい。

(企画政策・企画推進課)

「e・ふくちやま」整備事業の将来的な見通しは

問 繰越金として20年度から21年度に9億1000万円発生しているが、内容と使用状況は。

答 委託料と工事請負費の契約分で6億4000万円を執行中。未契約分で2億7000万円である。

問 更新費用が、将来的に最も財政の負担になる。耐用年数を考慮した資金不足を明らかにし、毎年の基金への積み立てを約束してほしいが、事業を完結または中止した場合の資金収支は。

答 更新費用などを含めた試算は今まで行っていない。

(企画政策・情報推進課)

新型インフル対策は

国・府や医療機関との情報共有や連携体制は。

WHOが警戒レベルをフェーズ4にあげた本年4月28日、対策本部を設置。府・中丹西保健所と連携を取り、感染の拡大防止のために健診時のマスクの着用、公的施設でのアルコール設置などを定めた。

重症化しやすい高齢者・妊婦・乳幼児対策は。老人クラブ、パパママ学級での健康教育で徹底している。

介護・福祉施設での集団感染を防ぐ対策は。手洗い、うがい、咳エチケットの徹底を図っている。

（福祉保健・健康推進室）

予算編成過程の情報公開を

税金の使われ方の公表は。

まずは、予算・決算の内容を、いかに市民にわかりやすくするか努力している。

（財務・財政課）

部課長級以上の市職員OBの再就職先の情報公開について

3月定例市議会で、9月に公表することだったが。

お約束したとおり、市のホームページで今月公表する。現在、退職者15名のうち再就職した9名全員から報告を受けている。

（総務・職員課）



毎年9月に市のホームページで公表

今次 淳一 議員

入札制度の問題点は

1000万円以下の入札については、最低制限価格が設定されていないが。

公共工事の品質性や良好な雇用関係確保の観点、適正な執行による経費節減の2

点から総合的な判断が必要と考えている。

落札価格が低すぎるため、落札することができず悲鳴を上げている業者が多数いるが、地元業者の育成策は。

競争原理を基本に発注していく中で、地元育成の観点からも、地元業者を最優先しながら配慮するとともに、可能な限り分離・分割によって入札参加の確保に努めている。

（財務・管財契約課）

自転車事故の対策は

6歳未満の幼児を同乗させるときは、ヘルメットの着用が義務化された。転倒して頭部にけがをする事故が多い。また、条件付きで3人乗りも解禁されたが指導方法は。

1年に3回、安全利用の推進のために一斉街頭啓発を行っている。また、交通安全教室を通じて啓発活動を実施している。3人乗りについても同様に街頭啓発して促進に努める。

幼児向けヘルメットの価格は平均3000円前後であるが、購入に対する助成を。

現在のところ考えていない。（市民人権環境生活交通課）

衆院選投票を終えて

投票所は全市で88カ所あるが、段差解消などバリアフリー化されていない投票所がある。足腰に障害をもちた方たちから不満がでてきている。安心して投票ができる環境づくりが必要だが、今後の具体策は。

10カ所は段差解消ができている。投票管理者に施設面などの課題についてアンケートをとった。今後十分検討をする。

（選挙管理委員会）

松村家住宅について

現在の土地と建物の所有者は。

4回変更され登記簿では、土地は京都市の企業、建物は個人の名義になっている。

府税・市税が滞納になつてると聞いているが。

平成21年度分について1名が滞納になっている。京都府と共同徴収していく。

防火防犯などで安心・安全に対する心配をされている地元に対しての現状説明は、地元自治会からの申し出の都度説明をしている。



松村家住宅 洋館(2階には暖炉がある)

(教委・生涯学習課)

新政会

井上 重典 議員

「e・ふくちやま」整備事業について

問 市長の基本的な考え方に ついて。

答 平成23年7月の地上デジタル放送切り替えまでに、旧市内の工事を1日も早く全力

問 福知山市が購入できなかったが、松山市長の思いは。

答 なぜ買わなかったのかと 思っていた。理解のある 人を探しても継続させたい考 えである。

で取り組みたいと考えている。
問 合併特例債交付税措置額 と償還額について。

答 現時点で国庫補助金は総 事業費46億5000万円の約7、09%で3億2968万 円。合併特例債は、決定しない 加入金をはらずして全体で38億2 000万円を充当する。総事業 費に係る割合は82、15%である。 償還期限は10年である。

問 光ファイバーと機器の耐 用年数のとらえかたにつ いて。

答 国の基準では減価償却年 数は光ファイバーが10年、 放送機器類が6年、通信機器類 が9年となっている。民間の電 気通信事業者の基準は、光ファ イバーは15年であり、機器類の 耐用年数は使用できる限りは設 備の活用を考えている。

問 維持管理費や機器更新費 などの支出が多額になる 情報が出されていない。

答 維持管理費の関係で、耐 用年数算定などの想定のも とでの話はお知らせしていな いと思う。償還期限などを見据 えた財政健全化の方策を講じた い。

問 ブロードバンド利用率の 見込みについて。

答 「e・ふくちやま」ビジ ョン段階の平成16年に旧 市域で行った調査で、新規とA DSLからの乗り換え希望の数字から試算して対象約1万20 00世帯の35%、4200世帯 の加入を見込んでいる。回線使 用料は、年間1世帯8944円 をプロバイダーから徴収する。
(企画政策・情報推進課)



1日も早い整備を望む難視聴地域

学校2学期制について教 育委員会の考え方

問 2学期制の効果について。

答 1・2学期で行う制度で あり、平成16年度ごろか ら取り入れられてきた。大きな 理由のひとつには、各教科の指 導に必要な授業時間数を適切に

確保したい、その工夫として2 学期制が導入された。始業式や 終業式、定期テストの回数が減 り時間のゆとりが生れるとか、 総合的な学習など継続的に続け る学習に取り組みやすいなどの メリットがあると思っっている。

問 京都市内の小学校は全て 2学期制を取り入れてい るが、
答 ゆとりを生み出して創造 的な教育を促進し、授業 時間を確保することで確かな 学力の育成を図りたい目的と考 える。
(教委・学校教育課)

杉山 金三 議員

人事のあり方について

問 市長の求める職員像は。

答 ふるさと福知山を良くし たいと思う気持ちを持つ ことが一番である。行政のプロ である以上自らが考え、自らが 行動する職員であること。困難 に接した時は、果敢に課題解決 のため対処できる人間でないと 困る。課題があれば逃げず、必 ず答えを出していかなければな らない。よく社会で言われる 「報・連・相」に私は、根を加える。

「根」は根回し、相談で庁内のタテ・ヨコの連絡、連携を保つ意味の「根」である。市長2年目として、市役所は市民に役立つところであるという意識改革と自らを変える知恵と意識と勇気をもって欲しい。特に若い職員には、上司がびつくりするくらい

の突拍子もないことでも出して欲しい。若い職員の若さを発揮できる職場を望むところである。『今度やろう、明日やろう』と延ばさず、市民のためになることはすぐ決断、実行してほしい。

問 女性職員の登用についての取り組みは。

答 男女の性別に関係なく個性、能力を充分発揮できる社会の視点にたつて、政策、方針決定の場への女性の参画推進のひとつとして、係長以上の女性職員の比率25%以上を目標に公平な評価の下、女性職員の登用を積極的に推進している。

問 職員が削減される中、職員労働条件についてどのように取り組んでいるのか。

答 地域担当制度、土曜開庁の試行、市民相談の充実など大変職員に負担をかけている。不要、不急な事務はやめ、効率的な事務処理体制を構築することが重要である。職員の健

康管理のため、職員課に保健師を配置し、職員の体調の変化に早期に対応するなど安心して働ける環境づくりに努力している。
(企画政策・職員課)

石原土地区画整理事業は

問 この事業の完成に向けての市の思い期待は。

答 平成5年1月事業開始から約17年の歳月を経て、本年度末で換地処分を終え、公共施設整備工事も100%完了する。残る保留地の売却や清算事務などを継続していく関係で、事業期間は平成26年度末までである。本年度は節目の年で、竣工式などの記念事業を行い完成を祝いたい。本事業が、市の東の玄関口である西中筋地域の発展に大きく寄与するものと確信している。

問 事業効果と成果を生かす課題は。

答 生活道路網、公園及び下水道などの整備を含め良好な住宅地の整備ができた。事業当初と比べ人口が約1.8倍、世帯数が約2.2倍増加した。他市からの転入者が約3割と聞いている。区域内の都市計画道路約2.2kmが整備、大谷川の用地

確保及び関連して河川暫定整備ができ、西中筋地域の骨格となる公共整備事業が大きく前進した。本事業と関連した道路網の整備に京都府と連携し努力していきたい。
(土木建設・都市整備課)

福政会

野田 勝康 議員

福知山市における財政改革の取り組み

問 具体的な財政改革の手法についての考えを聞きたい。

答 人件費・団体補助の削減や起債の繰り上げ償還、遊休地の処分など、集中改革プランを積極的に実行に移したい。結論的には、小さくて効率的な自治体を目指していると考えてよいのか。

問 財政規模を縮小していかなければならないと考えられているが、市民要望も実現しなければならぬので、スクラップアンドビルドの導入や投資的

事業の見直しを行っていきたい。スクラップアンドビルドとは何を意味しているのか。

答 事業の組み換え。つまり、執行する事業と取り止める事業を検討すること。
(財務・財政課)

森林管理と水害対策は

問 平成16年水害や先の8月の牧川水域の水害は、甚大な被害をもたらした。このような集中豪雨に対して、森林の果たす役割をどう考えているか。

答 森林整備が保水力ある山をつくり出すと認識している。本市として、森林整備事業の支援施策を考えているか。

答 今年度から、間伐材の搬出に補助金をつけ、支援している。
(農林商工・林業振興課)

福知山市の浸水対策事業について

問 福知山市における浸水対策事業は、現在、事業執行中の厚中地区がある。その他に、堀、土師地区があるが、約2億円の7月補正で、厚中地区の完成が約2年程度繰り上がったと聞く。今後の本市における

浸水対策の全体計画は。

答 7月補正により、厚中区の事業完成が2年程度早まる見通しである。しかし、次の事業執行予定地は現時点では決定していない。

問 もし土師地区内の浸水対策事業をやるなら、どういった工法を計画しているのか。

答 土師地区においても、厚中同様、貯留施設を4カ所公園内に埋める計画である。

問 なぜ、この工法が適しているのか。

答 公園内部に埋め込むと、用地買収の費用などが不要で効率的であると思っている。
(下水道・下水道維持課)

新防災センター建設は

問 新防災センター建設の必要性は何か。

答 現在の北本町の消防署は昭和37年建設で、耐震的にも問題があり、建替えの必要性がある。

問 舞鶴の防災センターは立派だが、16年水害時のバ

答 「救助」は事前に察知できなかった。本市の新防災センターの役割は。

問 本市の新防災センターの機能は、老朽化した消防

署の建替えと、市民への防災意識の啓蒙や危機意識の高揚にある。さらには、災害情報の伝達機能の強化を進める事も重要な役割だと考えている。
(消防本部)

竹下 一正 議員

市民病院の施設管理と患者サービスについて

問 市民病院敷地内の庭園面積、規模などの実態はどうか。

答 屋外の庭園は約5500㎡で、2階から4階に設置した4カ所の庭園を合わせると約7200㎡である。植栽は主に、つつじ、あじさい、山吹などが中心である。

問 庭園の維持管理に要した経費はいくらか。

答 職員たちでやっているという事で、そうした経費はかけていない。

問 「昭和ボランティアクラブ」の皆さんの支援協力も得る中で、ほぼ適切な庭園管理ができていると考えているか。

答 除草作業は、昭和ボランティアクラブの皆さんに年数回お世話になり、職員もボランティアを募って数回行って

いる。本年は春から夏にかけて雨の日が多く、雑草の成長が早く除草作業が追いついていない。今年度から「グリーンボランティア」ということで広く募集して、今後、より適切な庭園管理を行っていききたい。

問 入院患者用の病室のテレビについて、テレビ用のカード1枚1000円であるが約1日でなくなってしまう。また「色、画質が悪く見にくい」との苦情がある。テレビ設置に伴う業者との契約、条件などの内容はどのようになっているか。

答 同種のテレビを導入している他の例と比較しても、特に高いという状況ではない。契約内容については、テレビの他に冷蔵庫、ランドリー、電話、インターネットなどの設置契約をしており、病室のテレビについては、プリペイドカード1枚1000円で11時間40分見ることができるとしている。このテレビは情報端末としても画面操作によって食事選択、デリバリーサービスなどの機能もありBS放送、CS放送で映画も見ることができている。さらに地デジ対応も完了している。色、画質の調整、故障時の対応については、24時間体制で臨んでいる。

問 私が調べた病院の中には、1000円のテレビカードで25時間利用できる病院もある。入院患者の負担を少しでも軽くするためにテレビカードの利用時間数の拡大など改善に向けて努力する考えは。

答 テレビに限らず患者サービス、患者の満足度向上については、今後も努力を続けていきたい。
(市民病院事務・総務課)



市立福知山市民病院

明政会

池田 雅志 議員

「コメ政策改革」の本市の取り組みと状況を問う

問 平成16年度からはじまった米政策改革。水稲作付

目標面積の達成率は、

答 米の作付け超過率は、平成18年度95・9%、19年度96・4%、20年度97%。今年度は97・4%の見込みである。

問 効率的かつ安定的な農業経営の実現を目指して本市の重点施策である担い手の育成、産地づくりの実績は、

答 本市の担い手農家は156戸と農業法人7団体。産地づくり作物の作付けは、20年度は18年度と比較して大豆で35%減、紫ずきんで19%増、小麦で9%増、小豆で9%増と一定の成果とみている。

問 自己保全管理に今年から草刈と耕耘が要件となった。現地確認の結果は、

答 自己保全管理申請面積は420・3ha。その内、再確認面積は37・6haで昨年よりも2・9%増加したが、天候不順によるものと思っている。

問 高齢化、有害鳥獣被害が深刻化する中で自己保全管理要件の変更は、現地確認のない不作付け地申請の増加や荒廃が加速する結果にならないか。

答 来年度以降、不作付けとして申請されると確認はなくなる。農地の有効活用を周知していきたい。(農林商工・農業振興課)



再確認となった自己保全管理田

里道も災害復旧を

問 集中豪雨により生活道として使っている里道が、被災し通行できなくなったので、地元負担で復旧させた。里道は法定外公共物だが、市として災害復旧できなかつたのか。



里道を地元負担で復旧

答 農業用施設災害として位置づけられる災害については対応している。そうでないものは、生活密着の里道でも、地元をお願いしている。

問 里道を直せるように条例改定する考えはないか。

答 市の管理する里道は数多くあり、新たな財政負担となる。現時点では困難である。(財務・管財契約課)

創政会

大西 敏博 議員

安心・安全な生活を享受するために

問 牧川水系は8月上旬の大風23号による被害を受けた所と同じ個所が大きな被害を被った。早急に完全改良復旧をお願いしたい。

答 台風23号の被害以上と認識している。9月2日に府土木事務所に早期の災害復旧を求める要望書を提出している。早急な対応が必要と考えている。



早期の完全改良復旧が待たれる牧川堤防

問 土石流危険個所、急傾斜地危険個所の現状と対策

答 は併せて1200を越える個所が存在している。府においても、すでに土石流対策178カ所、急傾斜地崩壊対策49カ所の対策工事を実施していると聞いている。しかし、完了工事は全体の20%でしかないのが現状である。今年度、砂防工事11カ所、急傾斜地崩壊対策6カ所実施している。

問 牧川が被害を受けたのは、5年前の台風で流れ出た土砂の堆積が原因ではないか。台風シーズンを控え浚渫をして川底を下げる必要があると思うが。

答 土砂の撤去など早期の復旧を府にお願いしている。

問 防災ハザードマップに記載されている避難所で、土石流・急傾斜地危険個所に位置して使えないものがある。色の区分だけでは市民は見えにくく理解しにくい。

答 マップには、広域避難所、地区避難所、大雨には使えないが地震などでは使える避難所の3通りを載せているが確かに見にくいところもある。わかりやすいものにしていきたい。

問 土のう及び砂の備蓄状況は。

答 真砂土を東分署に3³m、北分署に5³m備蓄している。真砂土入りの土のうを本署に500袋、東分署に2000袋、北分署に1500袋備蓄している。

問 遠い所に備蓄していても、災害時は緊急を要する。道路が寸断される場合もあるし、取りに行くのに時間と車などの資材が必要になる。各地区にある土木建築業者と砂の備蓄を含めた災害協定を結んで。

答 物資確保など土木関係について、災害状況の調査とか応急復旧について、相手方

と協定を結ぶよう協議を進めている。
(総務・総務課)

無党派

荒川 浩司 議員

本市の健全財政について

問 今年の8月、両丹経済新聞に財政運営の効率性ランキングが出た。中丹3市を見ると全国755市中、綾部市74位・舞鶴市149位・本市410位。平成21年の全国都市ランキングでは784市中、本市の住みよさランキングは323位。平成5年頃は10位以内であった。また、財政健全度ランキングは498位で、この順位の根拠については、脱借金体質の数値も入っており、平成19年度は588位、21年度は626位であった。こうしたことをふまえて、現在建設保留中の「新給食センター」の建設はどうされるのか。

答 現在、決定はしていない。建設予定地や給食の実施方法・規模などを総合的に調整中である。
(企画政策・企画推進課)

辻井伸行さんのチケット販売の不振について

問 実行委員会へのチケット配布枚数と、その根拠は。

答 これまで5回のコンサートを通じて、多くの方々に御協力頂いており、その方々に対する強い思いがあり、800席の半分の400席分となっていたが、最終的に325枚である。

問 各販売場所の前売りチケット枚数の告知が遅れた理由は。

答 実行委員会さんの販売枚数の決定が遅れたためである。

問 チケットがネットオークションに出たが、その対応は。

答 警察にも問い合わせたが、出品者や、ネット会社に対しても、法律上取り締まる事はできないと聞いている。

問 今回の不振の反省と、行政としての責任の取り方は。

答 予想外の反響があり、各現場の担当者も、どう対応して良いか分からなかった。これについては、市の責任を痛感している。今後は、並んでい

ただくのではなく、はがき抽選が良いのではと思っている。また、事務局も敏感な視点で物事に対応できるよう進めたい。責任の取り方については、事務局としておわびしたい。
(企画政策・まちづくり推進課)



公演を待つ会場前の様子(厚生会館)

福知山駅前広場の夜間照明の削減について

問 市民から、夜間照明が明る過ぎないかと聞くが、CO₂削減の面からも、安全性を保ちながら節電ができないか。

答 どの照明を落とすのか、安全確保に支障がないかの検証を実験的に行いたい。
(土木建設・福知山駅前周辺整備課)



常任・特別委員会の審査報告



総務委員会

当委員会に付託された議第21号平成21年度福知山市一般会計補正予算(第6号)ほか3議案の審査を行った。給食センター建設予定跡地活用検討委員会について、選考された委員の活動予定を問う質疑に対し、10月中には委員を選考して今年度3回程度の会議を予定、さらに地元住民の皆さんの同意を得られる利用方法を十分に検討するため、次年度においても秋頃まで継続し検討したい、との答弁があった。また、福知山市有線テレビジョン放送施設条例の一部を改正する条例の制定については、歳入歳出の明確化を図るため特別会計の設置や、設備の更新等のための基金の創設を求める意見が出され、特別会計の設置については、工事が完了し維持管理を行う段階で検討したい。また基金の積立については、現在の財政状況も考慮しつつ、今後の検討課題として、との答弁がありました。以上の経過で採決の結果、議第21号、37号、38号の3議案は賛成多数、議第33号は全員賛成で原案のとおり可決された。

予算審査特別委員会

平成21年3月定例会市議会で継続審査となった議第124号、福知山市有線テレビジョン放送施設条例の一部を改正する条例の制定については、これまでに委員会を3回、協議会を6回開催し、慎重に審査を行った。審査過程では、「原案賛成の意見」、「加入金はゼロで使用料減額の意見」、「事業そのものを凍結する意見」等が出された。しかし、6月定例会市議会では、「継続審査」の動議が出され再度継続審査となった。その後、7月16日の協議会で、理事者から追加資料に基づき詳細な説明を受け、7月30日に予算審査特別委員会を開催し、各委員の意見を聞き、討論、採決を行った結果、本案は賛成少数で否決となった。

文教建設委員会

当委員会に付託された8議案について慎重に審査を行った。議第21号一般会計補正予算の内、三段池公園力ルチャイパーク整備事業の内容を問う質疑では、今回車いす等でもスムーズに散歩できるように、三段池の外周道路の舗装及び階段部をスロープ化するもので、池側の内周を2メートル幅でカラー舗装する計画であるとの答弁があった。遷喬小学校改修事業では、委員から遷喬地区は都市計画により今後の人口増で児童数の増加が見込まれる地域である。今後の整備計画において、今は普通教室に転用している図工室や音楽室の確保についても学校や地元PTAともよく協議していただきたいとの意見があった。採決の結果、全議案全員賛成で原案可決された。

経済委員会

当委員会に付託された議第21号平成21年度福知山市一般会計補正予算(第6号)、議第36号専決処分承認についての2議案を審査した。議第21号小規模農業基盤整備事業で下猪崎地区用水路整備が減額となった質疑があり、それについては当初予算で府の補助額40%の事業で予算化していたが本年度に国の50%補助事業が創設されたため、7月補正で乗り換え減額となったとの答弁があった。次に、千年の森づくりトイレを整備する元伊勢観光センターの管理運営を問う質疑では、今年度で指定管理期限が切れるので見直し検討したいとのことであった。次に専決処分承認については、農地・農業用施設災害復旧について緊急を要し迅速に対応するため適切な処置と理解した。以上の経過で審査を終わるため採決の結果、全議案全議案全員賛成で原案のとおり可決した。

市民厚生委員会

当委員会に付託された議第21号平成21年度福知山市一般会計補正予算(第6号)ほか5議案について慎重に審査を行った。所管部から多岐にわたる提案内容の説明を受けた後の質疑では、障害者の緊急雇用特別対策事業について支出区分や勤務実態等を尋ねる質疑に対し、それぞれ積算内訳の説明と、勤務実態は業務完了届けで把握するとの答弁であった。また多様な保育推進事業について、目的や雇用対象についての質疑には、保育士の資格は問わず人生経験豊富な人を雇用し保育の充実を求めているとの答弁があった。また議第32号工事請負契約の変更については変更理由や財源を問う質疑に対し、建築基準法改正による構造物の変更等で財源は防衛省の補助であるとの答弁であった。他の多くの質疑を経て審査を終了し採決の結果、議第21号ほか5議案は全員賛成で原案可決された。

議会日誌

7月～10月



- 【7月】
 - 30日 予算審査特別委員会 常任委員会
- 【8月】
 - 3日 滋賀県東近江市議会行政視察来市議 会運営委員会
 - 4日 由良川改修促進特別委員会要望活動
 - 5日 福知山市職員収賄事件調査特別委員会 議会運営委員会
 - 7日 8月臨時市議会本会議 各派幹事会
 - 10日 福知山市職員収賄事件調査特別委員会 各派幹事会
 - 19日 議会運営委員会行政視察
 - 20日 25日 由良川沿川市議会関係委員会正副 委員長会要望活動
 - 31日 議会運営委員会、各派幹事会、市民厚生 委員協議会
- 【9月】
 - 3日 福知山市職員収賄事件調査特別委員会
 - 7日 9月定例会市議会本会議 全議員協議会、 議会運営委員会、各派幹事会、総務委員 協議会
- 【10月】
 - 6日 7日 文教建設委員会行政視察
 - 9日 埼玉県鴻巣市議会行政視察来市 議会だより編集委員会
 - 13日 静岡県浜松市議会行政視察来市 県十和田市議会行政視察来市
 - 15日 19日 決算審査特別委員会
 - 20日 22日 決算審査特別委員会
 - 23日 22日 決算審査特別委員会、議会運営委員会 常任委員会
 - 28日 27日 文教建設委員会協議会
 - 28日 10月臨時市議会本会議 市民厚生委員 会、福岡県岡垣町議会行政視察来市

編集後記

8月に福知山地方を襲ったゲリラ的豪雨は、被害総額21億円以上と平成16年の23号台風匹敵する災害となりました。被災お見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧が求められています。今回、人命にかかわる災害がなかったのは何よりですが、改めて避難経路や学校など広域避難所の鍵を近くの方が管理することなど、危機管理のあり方が問われました。一方では、新型インフルエンザが流行しています。日頃から、十分な睡眠をとり、手洗い、うがいを励行することはもちろんですが、迅速なワクチン接種も欠かすことができません。市議会としても、市民の皆さんがより安心して暮らせる福知山市へと、議会活動に取り組んでいく所存です。ご意見など、お気軽にお寄せください。